

# 総務企画 委員会

## ●防災行政無線整備事業

3月20日の工期までに完成が見込めず繰越明許費とした。現在は契約解除の方向で作業を進めている、との答弁があった。

## ●総合計画策定

旧市町の総合計画を総括し、今後も取り組むべきものは新市建設計画に盛り込まれており、継続性は確保できる。総合計画は、いかに実効性が伴う施策に結びつけるかが大切で、実行段階で市民とともに取り組むために、計画づくりにはまちづくりにかかわるさまざまな団体に参画していただき、との答弁があった。

## ●市民サービスセンター開設

ジャスコ側から賃貸借期間は3年で、更新の考えは示されなかった。長期契約となるよう交渉し内容を確かめ契約する、との答弁があった。

## ●市史編さん(旧能代市)

編さん委員は事業全体の考え方をまとめ、編集委員はテーマにそって資料収集と執筆等、発行作業をすることになる。議案承認後の早い時期

に編さん委員の人選を行い、5年間で3巻の発行を基本に具体的な進め方について意見を伺う、との答弁があった。

## ●組織機構の見直し

職員数の削減により人件費は減額されるが、職員退職金等の共済費が予想以上に上昇しているため集中改革プランで示した金額ほど削減にならない状況である。定員適正化計画では18年度退職予定は7人だが実際は20人になっている。今後退職者数の5分の1採用を基本に進めるが、このままでは職員の負担がふえるため指定管理者制度の推進や委託事務の見直し等、市民サービスを低下させないことを基本に事務量全体を減らしていく必要がある、との答弁があった。

## ●檜山のまちづくり

檜山まちづくり協議会の広範な活動の中で、歴史の里檜山のまちづくりへの関心と理解を市全体に広げたい。歴史資源の活用で人を呼び込む仕組みと、点から面的な視点で共通意識をつくりあげることや、18年度に実施したワークショップのアドバイザーからの提案による塀の改修の企画等で、檜山の目指すべき歴史の姿が見えてくる、との答弁があった。

(安岡)



◀建設委員会

# 環境産業 委員会

●大沢ごみ処理場へのごみの搬入停止に伴い、未使用の廃棄物処理場使用許可証の取り扱いについて質疑があり、住民説明会や広報、窓口等で周知しているが、4月以降の取り扱いについて購入者に不利益とならないよう対応を検討している、との答弁があった。

●公設小売市場の建物を公設小売市場協同組合へ無償譲渡し、移管することについて、店舗使用者は全員納得しているか、また、固定資産税はどうなるのか、との質疑があり、協同組合との協議の中で全員がその意向である、また、市有地については今後は貸しつけることとし、建物は固定資産税の対象になる、との答弁があった。

また、民間移管後も「公設」という名称は使われるのか、との質疑があり、市の設置施設との誤解を招かないよう協同組合と協議していきたい、との答弁があった。

●カラス被害対策について質疑があり、有害駆除として17

年度実績は745羽。このほか18年度は唐辛子成分を含んだ黄色いネットを公募で10カ所に貸与しており、利用者からは効果があるとの報告を受けている。広報等で周知し、希望する自治会等にはあつせんしたいと考えている、との答弁があった。

●農地・水・環境保全向上活動支援事業の対象面積について質疑があり、これまでの農業政策は生産調整を前提としていたことや、農業関係団体からも除外すべきとの意見があったことから、生産調整未達成面積を除外した、との答弁があった。これに関連し、地域が一体となって環境保全等を行う事業であり、国では生産調整の有無は要件としていない。除外しない方向で検討できないか、との質疑があり、事業申請後でも対象面積は変更できる。生産調整に協力すれば20年度以降は支援対象にしたい、との答弁があった。

●「秋田スギの温もり」補助金50戸を見込んだ理由について質疑があり、19年度は建築確認申請の必要がないリフォームを新たに対象とするので、利用が増加することを期待している、との答弁があった。

(六山)